

## Elytra, New Series 投稿規程

1. 個人の会員は甲虫類およびそれに関連する報文を「Elytra, New Series」に投稿することができる。報文が共著の場合、著者の1人は会員であることを必要とする。
2. 報文は英文を原則とする。
3. 報文の長さは刷り上がり1号につき1著者あたり16ページ以内とし、超過ページの印刷費用(1ページ6,000円)は著者負担とする。
4. カラー印刷は、著者負担(1ページあたり10,000円)とし、1号につき1著者1論文1ページに限り5,000円の学会補助を行なう。
5. 著者校正は原則として初校のみとする。校正時の内容の変更や追加は認めない。もし、やむを得ない事情により変更・追加する場合は、それにもとない発生する費用を著者に実費請求する。
6. 別刷は50部単位で作成し、50部(表紙なし)を学会負担とする(希望者のみ:送料別)。
7. 電子版別刷(pdfファイル)は学会負担で作成する。pdf別刷の挿図のみカラーを希望する場合は連絡事項に記すこと。

### 原稿の校閲

原稿は十分に推敲され、適切な校閲を既に受けたものとする。投稿された原稿は、原則として2名の校閲者によって査読される。投稿原稿の採否は、査読者の意見に基づき、編集委員会が決定する。編集委員会は原稿の内容について訂正、再検討を求めることがある。重大な修正が要求されない場合は、変更箇所などについて、事前に著者に通知を行わない。

### 原稿作成要領

1. 【郵送(紙)投稿】原稿は横書きとし、A4判用紙を用い、上下左右各3 cm以上の余白をあげ、ワープロ等で清書する。また、原稿1ページ目の上部には、少なくとも1/4ページ以上の余白をあげ、ランニングタイトル、別刷冊数(表紙あり、なし)を記入する。清書する活字の大きさは欧文14ポイント(和文12ポイント)とし、句読点には「. , ; : ・」を用いる。なお、欧文では、表題や見出しを含めて、いかなる場合にも大文字だけで表記しない。動植物の属およびそれ以下の学名には下線(イタリック書体指定)を引く。人名の2文字目以降に二重線(スモールキャピタル書体指定)を引く。
2. 論文原稿は、表題、著者名、所属機関とその所在地(または住所)、原則として250単語以内の英文抄録(Abstract)、本文、要約(和文)および文献の順に配列する。著者が2人以上である場合は、著者名と所属機関およびその所在地(または住所)はそれぞれまとめて記す。
3. 短報原稿は、表題、著者名、所属機関とその所在地(または住所)、本文、文献の順に配列する。
4. 新種、新亜種の命名記載をとまなう報文には、正基準標本(ホロタイプ)の全形写真あるいは図を掲載することが望ましい。
5. 文献は著者名のアルファベット順に並べて、下記の形式で記す。

FLEUTIAUX, E., 1942. Entomological result from Swedish Expedition to Buruma and British India. Coleoptera, Elateridae, *recueillis par René malaise. Arkiv för Zoologi*, **33A** (18): 1-24.

WATANABE, Y., 1995. A new micropeplid species (Coleoptera) from Yunnan, Southwest China. *Elytra, Tokyo*, **23**: 245-249.

WATANABE, Y., & Z. LUO, 1991. The micropeplid (Coleoptera) from the Tian-mu Mountains in Zhejiang Province, East China. *Elytra, Tokyo*, **19**: 93-100.

6. 報文中の標本採集データは原則として次の略記とする。

(例) 3♂♂, 1♀, Iryuda, Odawara-shi, Kanagawa Pref., C. Honshu, Japan, 9.V.2003, M. TAKAKUWA leg.

20 exs., Phu Pan (Mt.), 1,600 m alt., Ban Saleui, Houaphan Prov., NE Laos, 1.V.2002, H. YOSHITOMI leg.

7. 原稿には、原稿用紙と同質の表紙をつけ、これに表題、ランニングタイトル(簡略した報文表題、欧文50字以内)、著者名、連絡先を記し、赤字で原稿枚数、別刷部数(表紙の有無を明記)、そのほか連絡事項があれば記入する。また、郵送の場合は、電子データの入った電子媒体(CD、メモリースティックなど)をかみならず添付する。

8. 図はすべて挿図(text-figure)として扱い、カラー写真などを除いて図版(plate)にしない。線画は耐水性黒色インク等で鮮明に描き、そのまま印刷できるようにする。印刷された図の拡大(縮小)率を示したい場合には図中

にスケールを入れる。原図には薄紙のカバーをかけ、これに著者名、図の番号、上になる方向を示す。原図版上に取り扱い指定文字を入れたい場合には、かならず青鉛筆を用いる。なお、原図の大きさは台紙を含めてB4判以内とする。

9. 図の説明および表は、それぞれ別紙に書き、原稿末につける。図表のだいたいの挿入位置を原稿本文に鉛筆で記入する。

10. 【電子投稿】電子メールによる投稿原稿（ファイル添付）も受け付ける。挿図と文書は別ファイルとする。挿図は、EPS、TIFF、JPEG形式で、線画1,200 dpi、モノクロ写真600–800 dpi、カラー写真350 dpi、線画や文字が入ったモノクロ・カラー写真の組み合わせ800 dpi以上の解像度が望ましい。画像サイズは横幅が145 mmが望ましい。詳細はwebサイトの「電子アートワークの作成について」を参照のこと。基本的な原稿作成は「郵送投稿」と変わらないが、イタリック、太字は、イタリックスタイル、ボールドスタイルをそれぞれ用いれば、下線、波線を引く必要はない。スモールキャピタル部分は、青色で入力し、決して大文字のみで入力しないこと（小型英大文字とする、フォントサイズを変更するなどの必要はない）。なお原稿フォーマットのファイルをwebサイトからダウンロードして使用することをお勧めする。

11. 原稿の送付先は下記学会宛とする。

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学総合博物館 気付 「日本甲虫学会」

大原昌宏（編集委員長）

電子メール：elytra@museum.hokudai.ac.jp